

DOKU-GAKU 掲示板

感染列島か、日本。

新型インフルエンザの影響はあちこちに広まり、関西で開催予定のコンサート関係者も大騒ぎです。

すぐさま延期を決めたジャニーズ。

ドリカムは延期決定の日に代替公演の日程もすかさず発表。えらい。

エイベックスの浜あゆ、大塚愛、幸田來未はいち早く開催を表明したところ

世間のバッシングに遭って(?)公演中止を決定。延期となるかははまだ未定のように。

さて今月末30、31日の土日、神戸ワールドホールがツアーファイナルとなるミスチル。

今日(26日)の時点ではなんの発表もなし..。

ひと頃よりは関連報道も少しトーンダウンし、

関西では感染拡大防止と並行して経済建て直しも議論され始めているようです。

(関西在住のタツオトさんは過熱気味のメディア報道に辟易しているかしら?)

ミスチルがライブをすることで経済効果が(少しは)上がり、元気が出ることも(たぶん)事実。

やるもやらぬも一日も早い決定がファンのためと思いつつ、熟慮を重ねるのもまた必要な微妙な時期。

どうなるの难道?? 神戸に行くアテもないアタシまでなぜか気をもむ毎日なのです....。

《映画クイズ解答》

前回映画クイズ正解 ①=C=大学生 ②=A
=歌手 ③=B=アパレル業界

ここでちょっと問題が。①番の漫画の主人公カンナさん、大学生か学食のおばさんか判然としないんですね(汗)学食のおばさんが正解かも。間違いを載せて失礼しました。漫画読み返してもよくわかんないんですけどね..。

さて今月の賞品は、「ナルニア国物語」キーホルダーと「SHINOBI」ビーチサンダルです。これからの季節にぴったりのSHINOBIビーチサンでカンナさんのようにかっこよくビーチを闊歩いたしましょお。

応募待っています! 特に仲間由紀恵ファンの日出彦さん、よろしくね(^o^)/



2009年予想・2008年予想結果

こういう世情を読むと言う企画は、本気で苦手です。会社での会話もその辺が難しくて、適当に相槌を打っているのだが、今回はよく当たっちゃっているのが吃驚です。こうなると自惚れちゃうので、それはそれで困り者です。2009年なんて100年に一度の大恐慌なんだから読めっこないです。



心理学シリーズ

如何に人の気持ちは読めないのかがこの観察ノートから判ります。タツオトさん、苦慮しているもの。連作ストーリーと心理学シリーズを一冊のものに纏めようと言う企画があります。うさおは結構真剣に考えています。そう言えばタツオトさんのいる大阪はインフルエンザの中心地、防護策は万全ですか？救援には行きませんよ。



17文字の抒情詩・エッセイ「梅含む」

人の作品を見るのも嫌、歳時記も「それっどーすかねえ？」って読んだことはないし、季語ってえもんは・・・アウトローのうさおには難しい課題です。17文字の中に季節と情感を織り込んで詠むことが、パズルのようで人の心を動かしますとは、どこかの俳人の言葉。その通りだと思うが、季節感の無い現代では、一年中、キュウリは食べられるし季節を錯誤する時代代と思う。って、自己弁護していますね。申し訳ない。



ビーズな毎日

この間、八王子に降りたらパワーストーンを大量に売っていた。店頭実演でこの天然石をビーズ状に組上げて売っていた。いやあ、贅沢なんだか、パワーストーンでバチもん何だかよく判らなかつたが、結構お年寄りが集って購入していた。こういうのもビーズって言っちゃっていいんですかねえ？



アンティーク西洋骨董洋菓子店 漫画・TV攻略ガイド、ミスチルばがぼんど

TICAさんの娘さんが「アンティーク西洋骨董洋菓子店」の再放送のDVDを下さったのと、bookoffで原本を購入出来たことから、安易に生まれた企画です。TVではBGMは全てミスチルでした。Googleのストリート・ビューを駆使してドラマのモデルになった所を特定し、検証してみたもの。これはこれで面白いのだが、スパイ衛星で監視しているCIAのような気分です。



映画カレンダー

映画大好き奥さん（カズさん）と川崎に映画を見に行きました。なんと「アンティーク西洋骨董洋菓子店」（韓国バージョン）です。Caccoが是非にも行きたいと言ったのです。映画は演技が過剰で余り面白くありませんでしたが、原本に忠実に作ってありました。映画大好き奥さんはそのような当たり外れには一切無頓着でこつこつと映画を見に行くのでした。



好奇心漫遊記

久しぶりの好奇心漫遊記。今度はトイレの中で勝負だ。確かにトイレの中は無防備で、なおかつ誰かがトイレに入ってくると、何故か息を潜めその人が出て行くまで気づかれないように努力している自分に出会う。ドアはちゃんと防備してもらいたい。紳士用トイレだからあまり物議はかもし出さないだろうが、カメラを手にトイレに入ってパシャパシャしている図は余り頂けないような気がするぞ。



賢太郎劇場にご招待

TICAさんから「小林賢太郎テレビ」のDVDを貸してもらいました。今回のご招待の基になった映像です。彼の一挙手一足投に凝ったセンスを感じ取って、石坂浩二のキミハブレイクを彷彿とさせちゃいました。彼は数学的です。数字に迷うと自閉症になるタイプと思っています。



ケータイシャシンカン

今回は不思議な建物の特集。細いビル以外は見たことがあります。作った人は相当の思い入れがあって作ったんだろうけど、こうやって取り上げられちゃうと少し悲しいものがあるね。



表紙は語る

いやあ、にやけっちゃいました。桜井君が。メガネなんか掛けさせるもんじゃありませんね。うさおの凝りようは、メガネに光を入れて本物ぽく見せたこと。旨いじゃん、旨いじゃん。



今月のDOKU-GAKU勝手にチョイス！

今月のチョイスは 東野圭吾著「パラドックス13」です。

読める人は読む。なるべく読む。友達に借りたりして読む。

ちょうど読みたいと思っていたあなた。参加してみませんか？

東野圭吾は2006年『容疑者Xの献身』で第134回直木賞、第6回本格ミステリー大賞(小説部門)を受賞するなど最近では着実に評価を高め、人気ミステリー作家の筆頭となっています。「パラドックス13」だけでなく東野圭吾全般、みんなで一緒に語り合しましょう。



次号企画です。

いよいよ裁判員制度が始まります。

そこでDGもひとつの事件を追って判決を考えてみたいと思います。

事件は最高裁まで争われ無期懲役が決定したが、その後再審請求が出された

「東電OL殺人事件」。無期懲役は妥当なのか、それとも冤罪か。

みなさんはどのような判断をしますか？

事件の詳細はこちらを参照ください。

<http://www.alpha-net.ne.jp/users2/knight9/touden.htm>

追ってみなさんにメールにて詳細を送らせていただきます。

難しいテーマですが

いつ自分が指名されるやもしれず・・・

予行演習のつもりで真剣に考えてみよーではありませんか！

では、次号DOKU-GAKUをお楽しみに。

2009年5月28日発行

発行人 読書を楽しむ会

印刷・製本 M's factor